

T a x & L a w

今回も前回に引き続き経営数値について解説します。

IV 債務償還能力

(1) 「債務償還能力」とは、「借入金の返済能力」のことです。金融機関から見た場合には、取引先企業に対する貸付金の回収の確実性を判断するための指標となります。債務償還能力の分析には下記の4つの方法があります。

① ギアリング比率：返済義務のある他人資本が返済義務のない自己資本でどれだけまかなわれているかを示し、低いことが望ましい比率

有利子負債

$$\frac{\text{有利子負債}}{\text{自己資本}} \times 100 = \text{ギアリング比率 (\%)}$$

自己資本

② 自己資本額：自己資本が充実していることが望ましい

$$\text{自己資本額 (千円)} = \text{自己資本}$$

③ 債務償還年数：年数が短いほど、債務返済能力が高いと判断される

有利子負債

$$\frac{\text{有利子負債}}{\text{営業利益+減価償却費合計}} = \text{債務償還年数 (年)}$$

営業利益+減価償却費合計

④ インタレスト・ガバレッジ・レシオ：比率が大きいほど金利の支払い能力が高いことになる

営業利益+受取利息・配当金

$$\frac{\text{営業利益+受取利息・配当金}}{\text{支払利息+手形売却損}} = \text{インタレスト・ガバレッジ・レシオ (倍)}$$

支払利息+手形売却損

(2) 指標の活用のポイント

債務償還能力は、金融機関にとって債権保全の見地から、安全性分析、収益性分析および成長性分析とともに、企業の与信力を測定するための重要な分析項目です。また企業側にとっても、金融機関から融資を受ける際に、他の分析項目と組み合わせ、金融機関に対してどの程度の信用があるのかを自己診断することができます。